

日本脳卒中学会 一次脳卒中センターおよび脳卒中診療医療機関 御中

厚生労働科研「脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究」および日本脳卒中学会急性期連携医療プロジェクト
2021 年の脳卒中診療実績、COVID-19 の影響に関する調査

問い合わせ先: stroke.res.group@gmail.com

参照 URL: <http://sc-res.umin.jp/>

<ご依頼内容>

以下のいずれかの方法でご報告くださいますようお願い申し上げます。

方法 1: 添付のエクセルファイル（アンケート 2021v6.xlsx）に記入し、メール添付で stroke.res.group@gmail.com に送付

方法 2: グーグルアンケートにアクセスして回答（訂正の場合は再回答してください）

Google フォーム URL: <https://forms.gle/duv7jMUtrqmiA62TA>

これまで 1-7 月、8-10 月の 2 回に分けて、ご報告をお願いいたしました。

すでにご報告いただいている施設は、未報告の部分(11-12 月)のみご記入をお願いいたします。

(<http://sc-res.umin.jp/> に報告状況を掲載しています。情報が誤っている場合は受領ミスと思われるので合わせてご報告いただきますようお願いいたします)。

まだ報告いただいていない施設は、恐れ入りますが報告いただきますようお願い申し上げます。

恐れ入りますが、2022 年 2 月 15 日（火）までに、ご報告いただけますと幸いです。

本研究班は、日本脳卒中学会の脳卒中センター認定が開始されたことによる、地域における脳卒中急性期の診療体制の現状、課題及びその解決策を明らかにすることを目的としています。研究班の発足と前後して広がった新型コロナウイルス感染症は、脳卒中診療にも大きな影響を及ぼしました。何卒宜しくご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、先行班が蓄積した 2016 年から 2019 年の機械的血栓回収療法に関する施設間連携の現状把握は貴重なデータとなっていますので、本研究班でも継続しています。詳細はホームページ

(<http://sc-res.umin.jp/>) 「MT 連携医療調査」のページをご覧ください。

ご多忙のところ恐縮に存じますが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究班

日本脳卒中学会 急性期連携医療プロジェクト 座長

主任研究者 神戸市立医療センター中央市民病院 坂井信幸

日本脳卒中学会 COVID-19 対応プロジェクト 座長 平野照之

日本脳卒中学会 理事長 小笠原邦昭

<本件の問い合わせ先>

脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究班

事務局: 廣田亜希子（神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科内）

E-mail: stroke.res.group@gmail.com